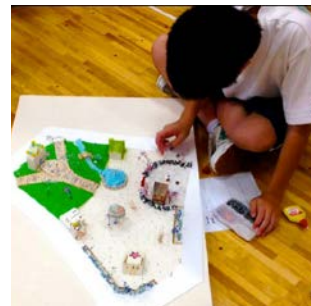


令和元年（2019年）10月17日

佐藤慎也教授らが第13回キッズデザイン賞で経済産業大臣賞 ～東日本大震災後の子どもと築く復興まちづくりプロジェクト～

【本件のポイント】

- 本学の佐藤慎也教授が日本ユニセフ協会、竹中工務店等と実施した「子どもたちが描く みんなの公園 ワークショップ」のプロジェクト
- 子どもの安全・安心と健やかな発達成長に役立つ優れた製品・空間・サービス・活動・研究などを顕彰する第13回キッズデザイン賞受賞作品263点の中から、最終審査で最優秀賞など33点が選定（9月25日発表）
- 子どもの様々な知識の習得や学びを支援する作品の中から最も優れたものとして、経済産業大臣賞（子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン リテラシー部門）を受賞



【概要】

本学の佐藤慎也教授（子ども環境・都市計画）が、日本ユニセフ協会、竹中工務店などと実施したプロジェクト「子どもたちが描く みんなの公園 ワークショップ」が、第13回キッズデザイン賞を受賞し、受賞作品の中から特に優れた作品として、優秀賞（経済産業大臣賞：子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン リテラシー部門）に選ばれました。同賞は、子どもの様々な知識の習得や学びを支援する作品の中から最も優れたものに贈られるものです。一連の取り組みでは、UNICEFが掲げる「Build Back Better」の理念の基、東日本大震災で被災した石巻市門脇地区において3つの街区公園を対象に、石巻市立門脇中学校の生徒たちが主体となって模型によるデザイン、思い出の絵日記、花壇づくりワークショップなど多様な表現を通して3年間に渡り、公園づくりを行いました。審査員からは生徒たちの具体的なデザインを咀嚼しながら、重要と考える要素を整理し、生徒たちにフィードバックしていった点、将来の維持管理を踏まえた地域の人たちと生徒たちとの交流型花壇づくりワークショップを実施した点などが高く評価されました。

【第13回キッズデザイン賞 受賞概要】 <https://kidsdesignaward.jp/>

応募企業・団体名：公益財団法人日本ユニセフ協会／国立大学法人山形大学／株式会社竹中工務店
受賞作品名：子どもたちが描く みんなの公園 ワークショップ
受賞部門：子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン リテラシー部門
受賞タイトル：優秀賞「経済産業大臣賞」

【背景】

建築・都市計画分野、福祉や教育分野を融合する形で研究を進めている佐藤慎也教授（子ども環境・都市計画）は、主に①冒険遊び場における子ども環境のネットワーク化に関する研究、②建築・まちづくり等教育手法をベースにした総合的な学習に関する研究③少子高齢化社会における住環境形成に関する研究を行ってきました。

東日本大震災を契機として、2011年冬から「子どもと築く復興まちづくり」プロジェクトを日本ユニセフ協会、竹中工務店と協働で実施しています。その取り組みのひとつが今回の受賞プロジェクトです。

【受賞プロジェクト『子どもたちが描く みんなの公園ワークショップ』について】

2015年から石巻市立門脇中学校1年生を対象に「未来の公園」を模型で表現する授業を総合的な学習の時間として実施しました。生徒たちのアイデアは竹中工務店設計担当者の手で具体的な図面として表現した後、具体的な3つの公園像を作成し、基本設計に採り入れました。子どもたちが描いた「かどのわき西公園」は、2017年8月に。「かどのわき中央公園」と「まねき公園」は、2018年2月に開園しています。

お問い合わせ

学術研究院 教授 佐藤慎也（子ども環境・都市計画/工学部担当）
TEL 023-628-4377 メール ssato@e.yamagata-u.ac.jp